



# 三笠だより

舞鶴市立三笠小学校  
学校だより 12月号  
令和元年 11月29日発行  
<http://mikasa.maizuru.ed.jp/>



## だれもが安心して自分らしく生きることができるように



三笠山の木々が美しく色づいたかと思えば、運動場に木枯らしが吹き渡る季節となりました。11月16日（土）には、三笠地域子育て支援協議会をはじめとした地域の皆様や、PTA運営スタッフの皆様にお世話になり、三笠ふれあいフェスティバルを開催していただきました。子どもたちは、このフェスティバルをとて楽しみにしていました。当日は、各コーナーで様々な温かい触れ合いがあり、笑顔があふれていました。さまざまな準備から当日の運営、後片付けまで、たくさんの方にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

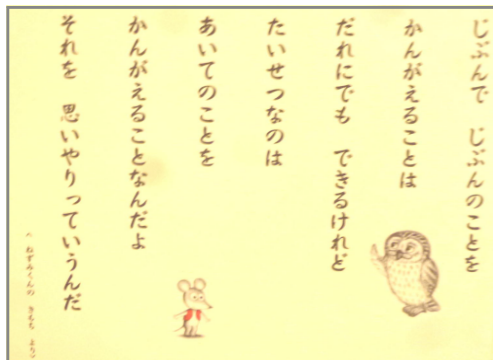
12月10日は、「世界人権デー」です。本校でも、11月27日～12月6日を入権旬間と位置づけ、人権について考え、人権を大切にす取組を進めます。

人権尊重の理念とは、わかりやすい言葉で言うならば「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」だと思います。カギとなるのが「人権感覚」ですが、これは、言葉で説明するだけで身につくものではありません。人は、自分の大切さや他の人の大切さが認められているという実感を持つことができるときに、自分や他者を大切にしよう、尊重しようという感覚や意思が育つものであると思います。このことから、次の二つのことを特に大事にしたいと考えます。



一つ目は、学校、教室に流れる温かい雰囲気です。教職員同士、児童同士、教職員と児童の間の人間関係や、学校、教室の雰囲気は、学校における人権教育の根幹をなすものです。三笠小学校で「あたりまえをあたりまえに」ということを大切にしているのも、だれもが安心して自分の力を発揮できるための基盤だと考えているからです。

二つ目は、本当の意味で「みんなちがってみんないい」になっているかということです。たとえば、「あなたはいつもマイペースだけど、今日はさっさとできたね。」「いつもぶっきらぼうだけど、今日は優しくかったね。」などと言われたとして、心からうれいでしょうか。「みんなちがってみんないい」と言いながら、一定の価値観やわかりやすい物差しだけで人を見てはいないだろうかと問いかけることを忘れないようにしたいと思います。



絵本 ぬすみくんのきもち」より

子どもたちには、自分を好きだと言える子であってほしいと思います。自分を好きになるためには、身近な人から「あなたのこういうところすてきだね。」「あなたのこと大好きだよ。」と言葉にすてもらうこと、ありのままの自分を認めてもらったという実感が必要ではないかと思ひます。自分を好きになるということは、人を大切にすることにつながります。そして、だれもが安心して自分らしく生きることのできる社会をみんなで作っていきたく思ひます。

2学期もまとめの月に入ります。子どもたち一人一人が、日々の学習や行事を通して成長したことを振り返り、3学期に向けて新たな目標を持つことのできる月にしていきたく思ひます。寒さが本格的になってきますが、健康安全にご留意いただき、充実したまとめの月になりますよう、ご協力をよろしくお願ひいたします。



校長 小島 みどり